

南小国町デジタル田園都市構想総合戦略（素案）に関する意見公募（パブリックコメント）におけるいただいた御意見に対する町の考え方について

令和7年2月18日から2月27日まで実施しました標記パブリックコメントにおいて、 件の御意見をいただきましたので、御意見に対する町の考え方を次のとおりお示しします。

【御意見①】

（１）今後の３０年後以内に起こりうる南海トラフ地震に備えＪＡ跡地にて防災公園の建設。園内の設備は例として防災東屋、かまどベンチ、災害時マンホールに直接敷設できる簡易トイレ等を設置。

木造建築は基本小国杉を用いて平時は町民の憩いの場に。黒川温泉を身近に感じてもらうためにイベントの開催等を行う。例として旅館の不要備品の蚤の市「マルシェ」やキッチンカーを呼び食と買い物を楽しむ。管理用の棟を作りＡＥＤポストを設置

（２）ＪＡ跡地の一部に家財に小国杉を用いた２０～２５戸程度の单身、家族向けアパートを建設。住宅不足問題の解決への一助へ。ゼロエネルギーハウス（ＺＥＨ）の人と環境に優しい建築物に。また、耐震等級３を取得し地震にも強い建造物を目指す。屋上または平地にソーラーパネルを用いて蓄電池を設置し、災害時は被災者に給電可能にする。スターリンク等を活用し、インターネットインフラの維持を担う。

一階に貸店舗を設けて、フリースペースにオープンキッチンや郷里教室などを開ける場所を提供できるように目指す。

【町の考え方①】

ＪＡ跡地利用については、総合戦略において、新たな交流の拠点、防災の拠点等の複合的な機能を備えた施設等の整備を考えております。

今回いただきましたご意見は今後のＪＡ跡地利活用に關し、大変参考になる内容です。

ＪＡ跡地利活用に關しまして、今後２回目のアンケートを実施する予定としており、町民の皆さまが、町の未来のありたい姿をどのように描き、その中で、町中心部でもあるＪＡ跡地にどのような機能があるといいか等も伺いたいと考えております。

今回いただきましたご意見・アンケートの結果などを踏まえまして、農協跡地利活用検討委員会や跡地利活用に關するワークショップ等での議論の際にご意見を参考とさせていただきます。